

10月4日(水)秋晴れの下、1年生は総合的な学習で、地域探訪学習を行いました。今年は「如斯亭庭園」「彌高神社」「鉱業博物館」「ねぶり流し館」の4カ所へクラス毎に訪問しました。個々に事前学習を行い、班ごとに学習テーマを設定し、質問事項を話し合っ、訪問に臨みました。訪問先では、施設の方やボランティアの方から丁寧な説明を受け、見学や体験をする中で、多くのことを学ぶことができました。「ただいま～!」と元気に戻ってきた時の生徒たちの表情や目の輝きから、充実した学習になったことがよく分かりました。

地域探訪では、テーマ毎の学習の他にも、創立70周年を意識して、1年生全員で70個の発見をしてこようという、もう一つの目標を掲げました。一つの班で5つの発見があれば、5つ×5班×4クラス=100の発見になり、重なりを除いたら70になると考えたのです。ところが実際は、予想をはるかに超え、生徒は驚くほどにたくさんの発見をしてきました。しかも、重複する発見は見られず、充実した時間だったのだと思い、嬉しく思いました。

生徒の発見から〔抜粋〕

【如斯亭】

- ①釘隠しという物で、建物の釘が隠されている。
- ②昔の人は身長が低いので、建物の天井が低い。
- ③床板の向きが歩く方向に合わせている。
- ④庭園にある櫟の木の樹齢は550年。
- ⑤藩主の名前には、みんな「義」が付いている。

【鉱業博物館】

- ⑥五円玉硬貨の絵柄は日本の特色を表していた。
- ⑦黒鉱は秋田の代表的な鉱石で、重晶石、黄銅鉄などが合わさってできている。
- ⑧鉱業博物館は秋田で唯一重力を測定している。
- ⑨秋田は昔、銅と鉛の生産量が日本一だ。
- ⑩振ると、音の鳴る石がある。「鳴石」という。

【彌高神社】

- ⑪渋谷区の平田神社は平田篤胤の子孫が建てた。
- ⑫彌高神社は平田神社という名で八橋にあった。
- ⑬神社に祀られている神は一柱、二柱と数える。
- ⑭彌高神社は地域の憩いの場であった。
- ⑮秋田県民歌や東中校歌に、彌高神社に関係の深い平田篤胤や佐藤信淵に関する歌詞がある。

【ねぶり流し館】

- ⑯ねぶり流し館の周りには古い建物が多い。
- ⑰竿燈の絵柄が付いた自動販売機がある。
- ⑱ねぶり流し館には、竿燈や提灯がたくさん飾られている。
- ⑲ねぶり流し館の方は、みんな笑顔で優しい。
- ⑳行く途中、「鷹の松」という大きくて斜めになっている松の木があった。



ここに書き切れないほどのたくさんの発見は、感動の数で、生徒の心の成長の糧と考えます。

校内発表会を経て、互いの学びを共有することで、さらにふるさとについての自分の考えを深めることができるものと期待しています。

ふるさと秋田への思い ～行動人探訪～

2年主任 安部 一 則



「秋田を支えている行動人の思いを知り、ふるさと秋田を改めて見つめ直す」という目標の下、10月4日(水)、2年生は5つのカテゴリーに分かれ、24の企業や施設等を訪問しながら学習を進めました。どのグループも満足そうな笑顔で帰校し、すぐにまとめ学習に取り組む姿から、充実した体験になったことが伝わってきました。生徒のまとめから抜粋して紹介します。

※【】内は訪問先

- 秋田に対する思いを“何もない”と考えるのではなく、“何もないから何でもできる”と話されたことで、行動次第で“なんでもできる秋田なんだ!”というように見方が変わりました。【(株)ローカルパワー】
- リハビリは、ケガや病気を治すだけではなく、患者とのコミュニケーションが大切であるということを感じました。【城東整形外科】
- 秋田は人口減少が課題なので、秋田の魅力を発信したり環境を整えたりしながら、人を呼び込むことが必要だと思いました。【かみの里】
- 「秋田はつまらない」という先入観をなくし、夢をもって努力する大切さやふるさとを盛り上げようと頑張る楽しさに気付きました。【Sぷれっそ】
- 蔵などの建造物は、先人の生きてきた足跡であり、日本の文化でもあり、その時代を知るために必要なもので、残し伝えていくことの大切さに気付きました。【角館まちづくり研究所】
- ニュースやCMの原稿を読む体験を通して、アナウンサーの情報を伝える力のすごさを改めて感じました。【ABS秋田放送】
- 動物愛護センターの役割の重要性や保護された犬や猫のおかれている状況を知り、自分も力になりたいと痛感しました。【動物愛護センター】

今回の各グループの活動を学年全体で共有し合い、一人一人が秋田の活性化のために、何らかの力になれることを大いに期待しています。

地 域 貢 献 活 動

3年主任 高 橋 一 雄

7月初旬に、秋田県内で地域貢献で活躍している羽生喜一さん(雄物川流域の清掃活動)さんと富岡重夫さん(大学病院前の水辺環境を守る会会長)の講話を聞き、活動しようと思った理由や、地域貢献の成果と課題を知ることができました。

講話会をうけ、夏休みの宿題で、3年生は自分でできる地域貢献活動に挑戦しました。生徒の書いた実践レポートはどれもすばらしい内容で、学年通信でそのようすを紹介しました。

10月13日(金)に、これまでお世話になった地域の皆さんへの感謝の気持ちを込め、学区内の道のごみ拾いと草刈りをしました。生徒はJR社宅と、秋田大学までの道、秋田大学周辺の道の草取りとごみ拾いに汗を流しました。45Lのゴミ袋で約90袋分のゴミや草が集まりました。また、「若人の像」ができたときの卒業生からのお手紙がきっかけで、地域貢献活動と平行して、東中学校の敷地にある2つの像と4つの碑を美化する活動を行いました。それぞれをタワシやメラミンスポンジ、高圧洗浄機で磨いたり、剥がれた塗装を塗り直したりして、2像4碑が見事に蘇りました。一連の活動を通して、地域の一員としての所属感や地域に貢献しようとする意識も高まりました。

